

21 マメイタイセキグモ

(コガネグモ科)

兵庫県ランク:要調査

Ordgarius hobsoni

環境省ランク:-

種の概要

体長雌5.5～6.5mm、雄2.0mm前後。南方系のクモで、粘球を振り回して蛾を捕らえる「投げ縄式捕虫行動」で知られ、腹部に多数の瘤をもつ独特の形態を有している。本州、四国、九州、沖縄諸島のほかインド、スリランカ、中国にも記録がある。

写真なし

県内における生息状況及びその他特記事項

兵庫県下に記録が散見するが主として夜間に活動するので、今後観察者が増加すれば発見例が増える可能性がある。希少種としての扱いには疑問も残るが今回はランクを据え置く。

保護上の留意点

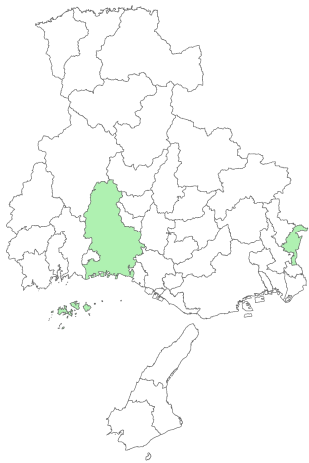
下層植生が良好な里山林や多様性の高い林縁部環境が残されることが本種の生態にとって好ましいので環境保全に留意すべきである。

県内分布

川西市、姫路市

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	○



【執筆者】本庄 四郎